

令和 6 年産大崎地域の 大豆作技術情報(第 3 号)

令和 6 年 7 月 25 日発行
宮城県大崎農業改良普及センター
TEL : 0229-91-0726 FAX : 0229-23-0910
<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～栽培のポイント～

- ・ 中生品種では開花が始まっています。開花状況を確認しましょう。
- ・ 大豆が開花前で、雑草の発生が目立つ場合は、適切な雑草防除を行いましょう。

1 気象経過

- ・ 気温は、6 月第 1 半旬を除き、平年よりも高く推移しました。
- ・ 5 月第 6 半旬・6 月第 1 半旬の降雨以降、6 月第 5 半旬まで降雨なく、かつ多照となりました。東北南部の梅雨入りは 6 月 23 日頃（平年より 11 日遅い）となりました。7 月第 2 半旬にはまとまった降雨がありました。
- ・ 今後も向こう 1 か月間程度は気温が高い状態が続くことが予想されます。

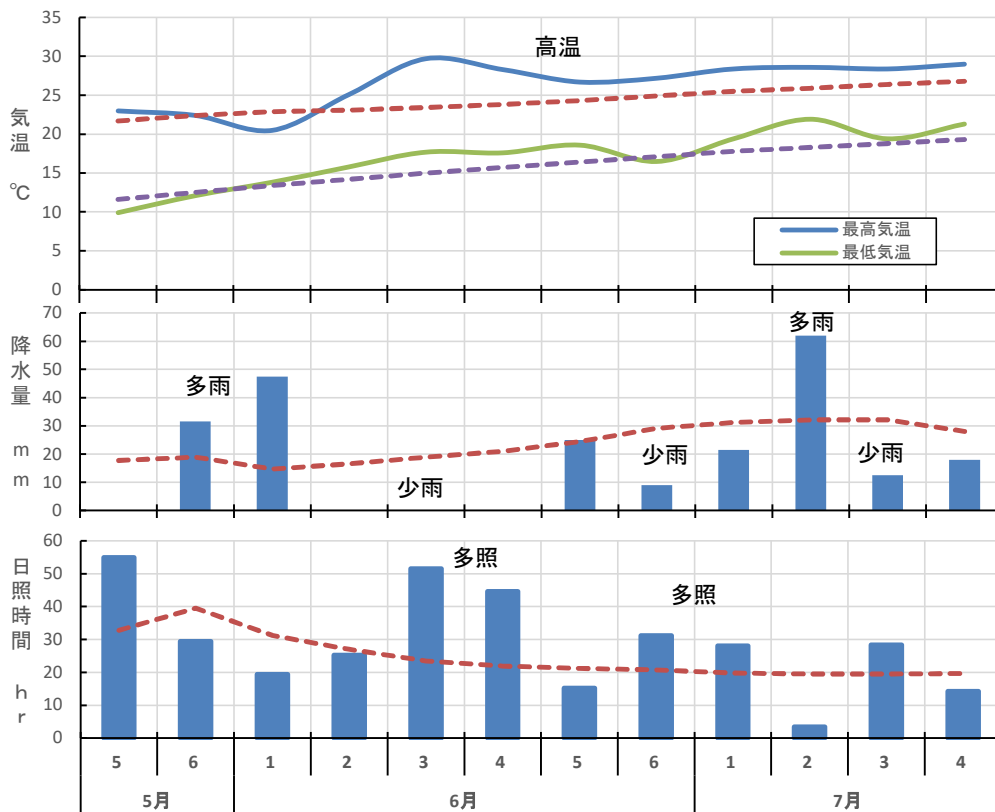


図1 5月第5半旬から7月第4半旬までの気象（古川アメダス）
※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値

東北地方 1 か月予報 (7月20日から8月19日)				7月18日仙台管区气象台発表			
<向こう1か月の確率(%)>				<気温経過の確率(%)>			
	低(少)	平年並	高(多)		低い	平年並	高い
【気温】	10	10	80	1 週目	10	10	80
【降水量】	20	40	40	2 週目	10	30	60
【日照時間】	40	30	30	3~4 週目	20	40	40

2 生育概況(7月24日現在)

- 管内の播種は5月下旬から始まりましたが、5月末から6月頭の降雨により作業が中断し、6月上旬に播種したほ場では、乾燥で出芽不揃いとなり、播き直したほ場もあります。
- 調査ほ場の出芽は良好であり、7月24日調査のタンレイ・ミヤギシロメでは、主茎長、主茎節数、分枝数ともに平年並から平年を上回るほ場が多くなりました。すずみのりは、主茎長・主茎節数は前年並ですが、分枝数は前年よりも少なくなっています。
- 「タンレイ」(中生)では、平年より5日早く、前年より2日遅い開花が確認されました。

表1 生育調査結果

地区名 品種名	区分	播種日	7月25日			開花期
			主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	
古川 タンレイ	本年	5月27日	65.0	14.3	2.1	7月22日
	前年比	±0日	100%	101%	76%	2日遅い
	平年比	±0日	128%	117%	121%	5日早い
古川 ミヤギシロメ	本年	6月7日	45.2	12.2	1.9	未
	前年比	5日遅い	102%	106%	96%	-
	平年比	4日遅い	97%	111%	108%	-
三本木 ミヤギシロメ	本年	6月7日	73.8	12.2	0.5	未
古川 きぬさやか	本年	6月1日	53.0	11.5	1.9	未
小野田 すずみのり	本年	6月8日	42.9	9.9	1.3	未
	前年比	±0日	106%	98%	76%	-
中新田 すずみのり	本年	6月8日	64.3	10.9	1.8	未
	前年比	9日遅い	94%	86%	63%	-

※1 平年比は、前5カ年(令和元年～令和5年)の平均値との比較

※2 「三本木ミヤギシロメ」、「古川きぬさやか」は令和6年より調査開始

3 今後の栽培管理のポイント

- 雑草の発生が目立つほ場では、大豆が開花していないことを確認して、除草剤散布を実施しましょう(除草剤については大豆作技術情報第2号を参照)。
- 中耕培土未実施のほ場では、中耕培土を最低1回は実施しましょう。
- 追肥を行う場合は緩効性肥料を用い、最終培土時に土壤に混和する様に施用しましょう。
- 降雨の前後に排水溝や明きよを点検し、排水が滞らないようにしましょう。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆農薬危害防止運動(6月1日～8月31日)◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
運動のテーマ「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」

「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

